

第6回（臨時）

地方議会における政策サイクルと議会評価モデル研究会

参加報告書

林 晴信

「地方議会における政策サイクルと評価モデル」研究会

臨時会合次第

到達目標： 3/25（土）午後の議員フォーラムのプログラムの確定
議会評価についての議論と今後の方向性の確認を行う。

開催日時： 2017年 2月7日（火） 13:00～17:00

会場： 日本橋コレド 5F

13:00 ■ 3月25日（土）午後「議員フォーラム」について（資料1）

- ・プログラムについての検討（参考資料：事務局案）
内容のすり合わせ、ならびに登壇者確定

14:30 ■休憩

14:45 ■ 議会評価について（資料2、3、4）

- ・評価について、何をどのように評価するべきか、意見交換
評価方法、ひな形、評価基準など

16:15 ■休憩

16:25 ■ 今後の方向性について

- ・研究会のゴール（ガイドライン、もしくは書籍刊行）に向けての
ロードマップと取り組むべき課題の抽出。

17:00 ■終了・解散

【所感】

3月25日（土）に地方議員フォーラム2017「議会改革の第二ステージ～議会からの政策サイクルを回す～」を開催するので、その最終調整といった意味もあっての今回の臨時研究会だった。今回の研究会で一番頭に残ったのが、予算や決算審議は3年間のことを頭に入れて審議しなければならないということだった。

つまり、過去（決算）と現在（執行中）と未来（予算）である。

決算審査での内容（昨年度）のことだけで予算（来年度）に向き合ってもダメで、そこには当然執行中の現年度の状況も入れなければならないということである。

西脇市議会の審議で現年度の執行状況に関する情報はほとんど皆無とっていい。

監査でいうところの定期（行政）監査の部分が無いのである。

会津若松市議会にしても、可児市議会にしても毎定例会ごとの所管の委員会で、執行部よりきちんと重点項目（重点事業）に関する執行状況の報告はきちんと行われているという。

西脇市議会でも、予算審議時に時折現在の状況に対する質問が出ることはあるにはあるが、殆どの場合、現年度の状況を知らずして審議が行われている（目は新規事業にしかいておらず、継続事業に対する確認などほとんど行われない）

確かにそう考えれば、西脇市議会の予算審議など、ずいぶんとお座成りだと反省することしきりだ。

また我々も取り組もうとしている行政評価に関しても、飯田市議会等がやっている「事務事業評価方式」に真っ向から異を唱えるのが会津若松市議会の松崎氏である。

「議会が評価するのは事務事業ではなく、その上にある施策や政策である」

言うまでも無く、政策の実現のために施策があり、施策の達成の為に事務事業があるのである。

もちろん、政策・施策の評価のために事務事業の評価も必要だが、事務事業の達成状況の評価をしているだけではダメだということである（近視的になる）

事務事業がいくら達成できていて高評価を得ても、それが施策や政策の達成に対して貢献度が低ければ、その事業はそもそもが間違った方向性の事業なので、意味がないということに繋がるのだ。たぶん、松崎氏はそういうことを言いたいのだろうと私は思った。

今度の3月議会の予算審議では、9月に行った決算審議を踏まえ、現年度の執行状況も頭に入れて、予算に当たらなければならない。

また、その事業が何を目的として行われている事業で、その事業が100%達成した場合に政策施策にどの程度の影響を与えるものなのか？という視点での審議が必要だろう。

そういう視点で臨めば、「この事業より、もっと別の事業に配分するほうが政策や施策の達成度は高まるのではないか？」という疑問や、「全く別の事業（他自治体の事業も参考にして）の事業手法のほうがいいのではないか？」という疑問も沸くだろう。

そういったこと（比較分析法ばいの）などを使って審議すると議会力の向上に繋がるのではないかと考える。

「目指す山の頂上は同じでも登るルートが違う」ということである。

意識してみたいと思う。

最後に松崎氏の言葉で、頷いたのは、以下のこと。

時折、見かけるんですが、「市がやりますと言ったからいいじゃないか」というヤツ。

市がやりますは市行政の意思を示しただけ、議会の意思は別です。

議会の意思は決議でしか示せないんですよ。

会津若松は決議も普通に行ってます。

決議なんて予算に傷付けて大丈夫ですか？と言った他市の議員がいましたが、なんで決議が予算に傷つけることになんの？って話ですよ。

ものすごい勘違いしてますよね（笑）

議会の意思決定については強さの順でいえば次の通りだろう。

- ・ 条例制定（市に責務を付加する・行わなければならない）
- ・ 決議（議会の意思を示す・行わないと対立になる）
- ・ 委員会の申し入れ（市行政に対する委員会からのお願い・行わないと.....特に何も無い）

もし、会津若松市議会の審議やり方なども参考にするなら、一度、会津若松市議会の松崎氏（制度設計をしているのがこの方・議会運営委員長）を研修講師で招聘してはどうだろうか？と思う。

なお、本研究会は「地方議会における政策サイクルと評価モデル」研究会であるが、政策サイクルについては全国の自治体向けに発表できそうだが、「議会評価」については、まだまだモデル発表できるところまで出来ていない。

そういうことで、来年度も引き続き研究会を継続したい旨があった。

また来年度も行かなければならないのだろうが、議員派遣や政務活動費で来ている他の議員は問題ないだろうが、私は財政的に辛いので、正直いってどうしようか悩んでいるところだ（年間30万円程度かかる）

さて、冒頭に書いたフォーラムであるが、西脇市議会も実践報告をしてもらいたいとの依頼があった。たぶん、いきなり会津若松市議会や大津市議会の取組みを全国の自治体議会にモデルとして紹介しても、取組みが凄すぎてドン引きされることも懸念して「小さな議会でもできる政策サイクルの実践」のような事例で西脇市議会にもお鉢が回ってきたのだろうと思う。

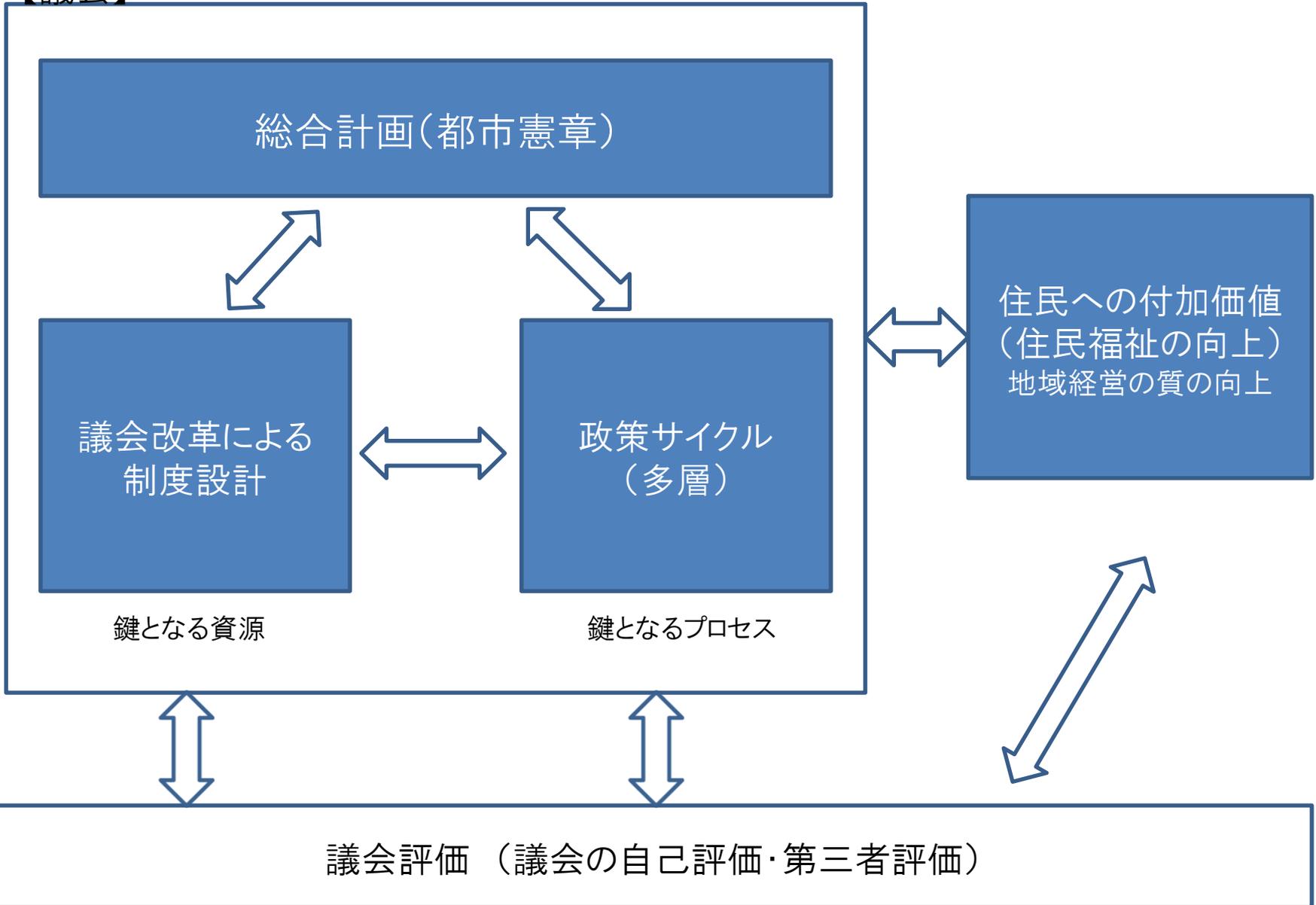
フォーラムの報告者は会津若松市議会・大津市議会・可児市議会・飯田市議会（未定・4月に改選で不可能か）・那覇市議会・西脇市議会ということになる。

全国に西脇市議会をアピールできる良い機会でもあるので頑張りたいと思う。

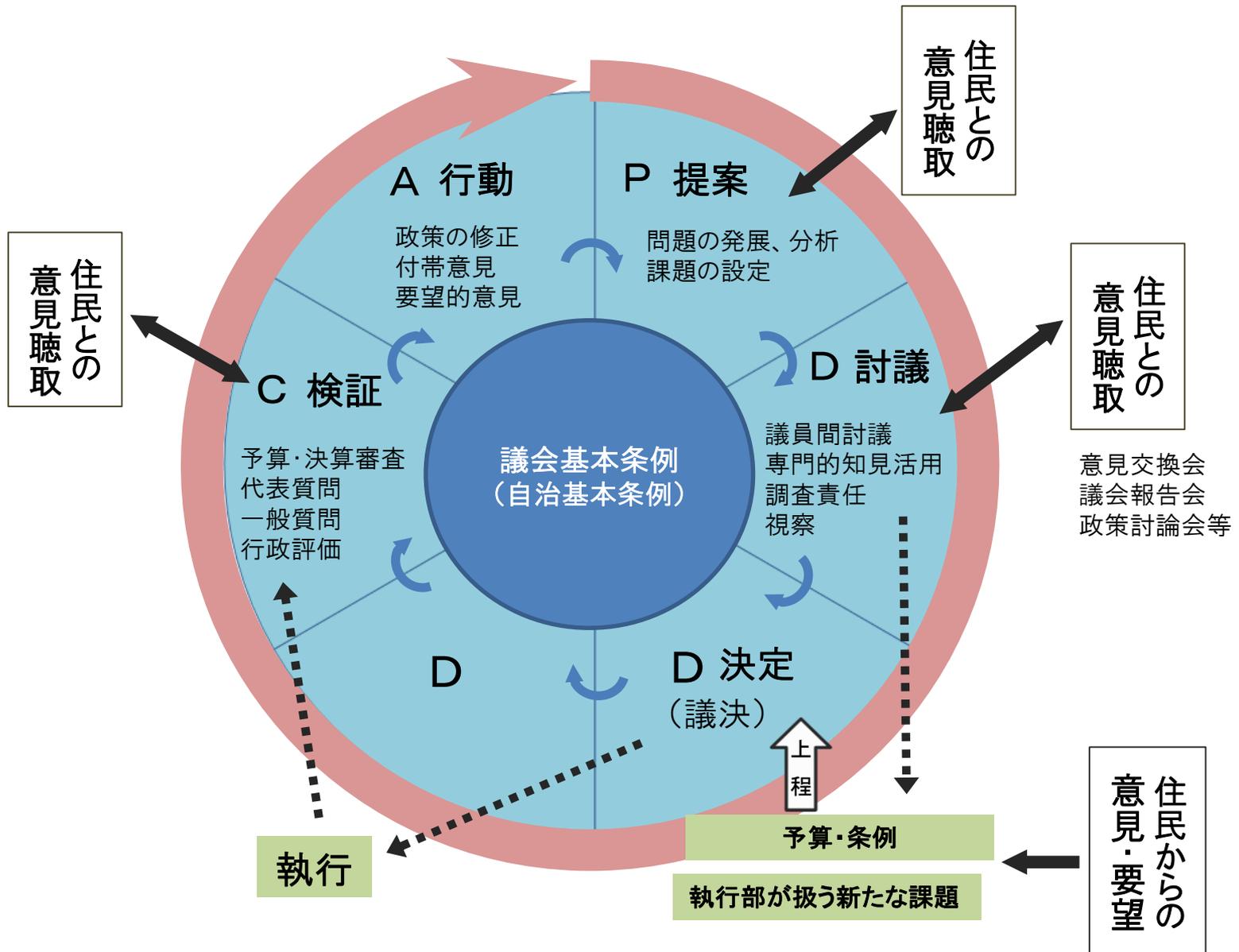
1. 議会の本来の役割

(資料2)

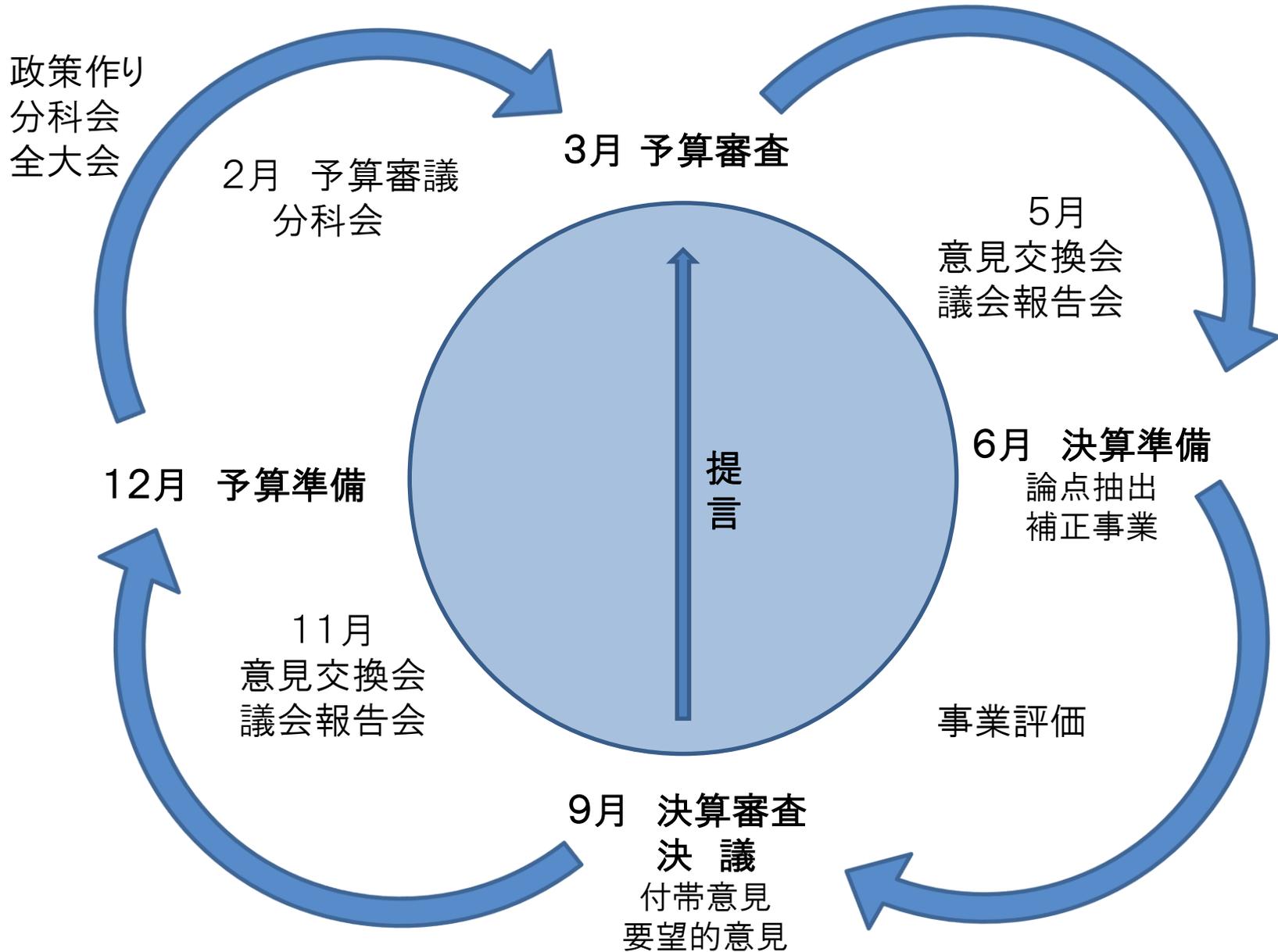
【議会】



2. PDDDDCAによる政策サイクル



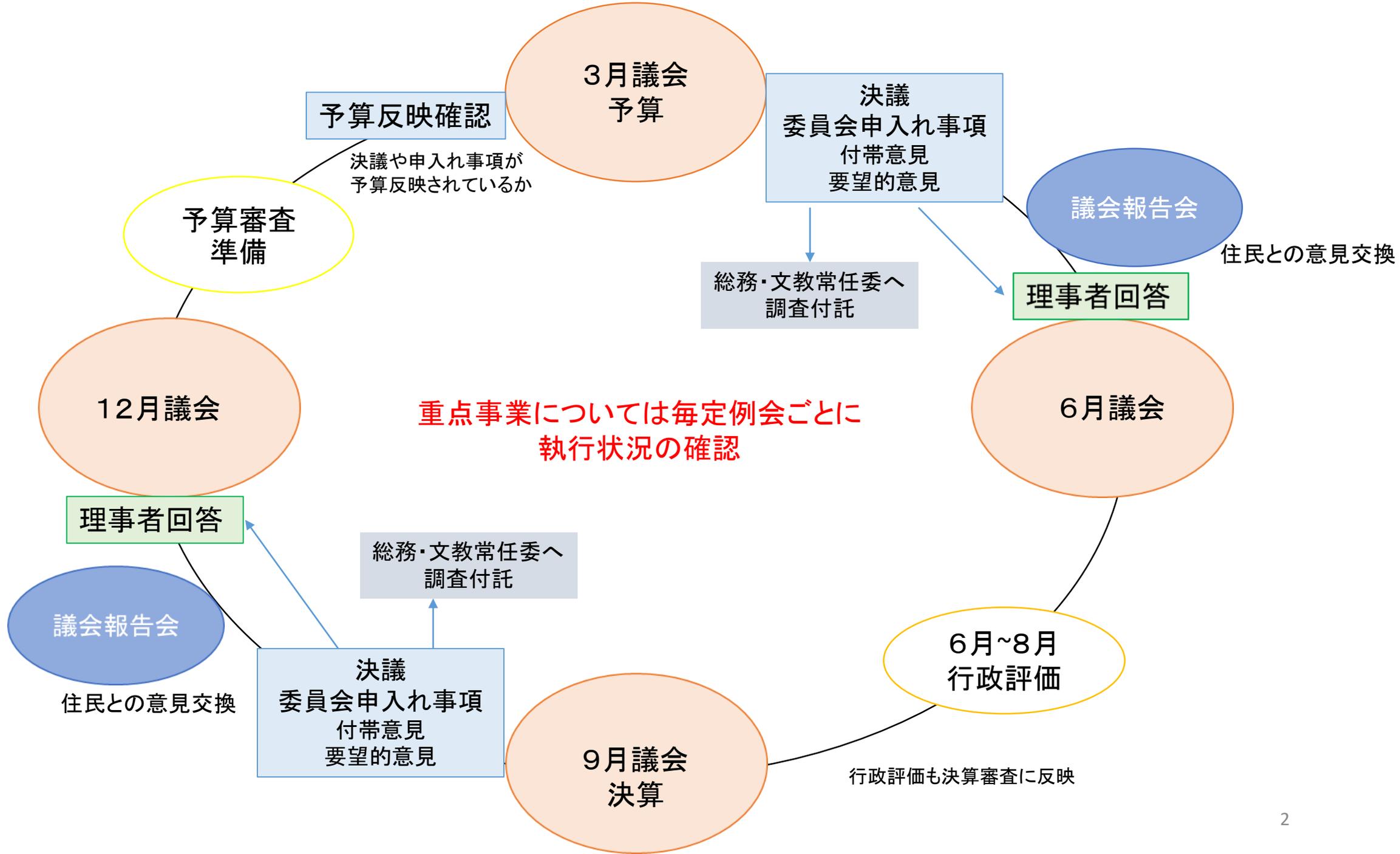
3. 議会における年間政策サイクルの展開事例



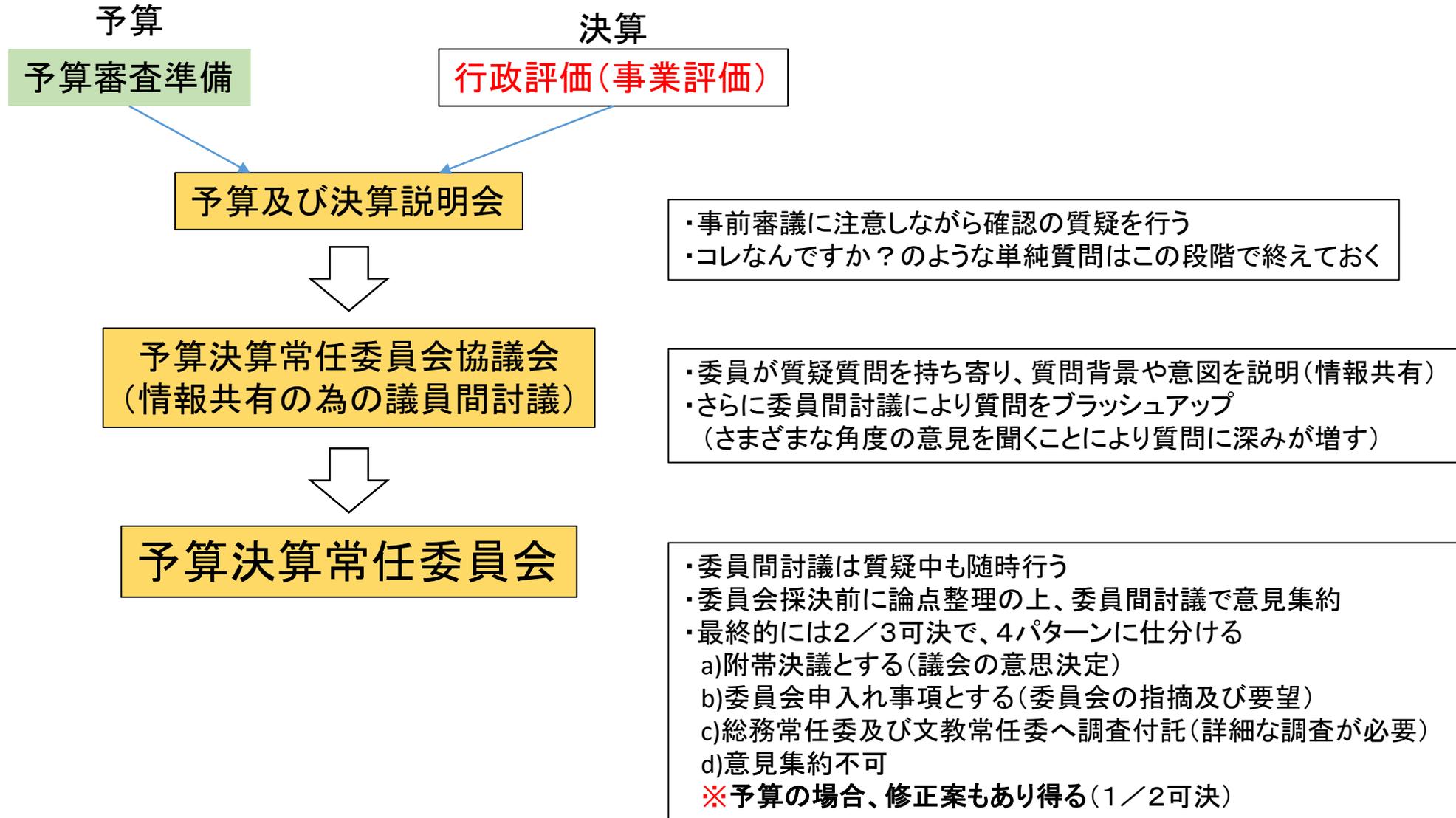
予算決算におけるサイクル

POINT

- ・政策－施策－事業の3層構造でチェック！
- ・過去(決算)－現在(執行中)－未来(予算)を複眼的に考察！
- ・予算書・決算書・監査報告書・総合計画・政策形成過程資料等を読みこなす！



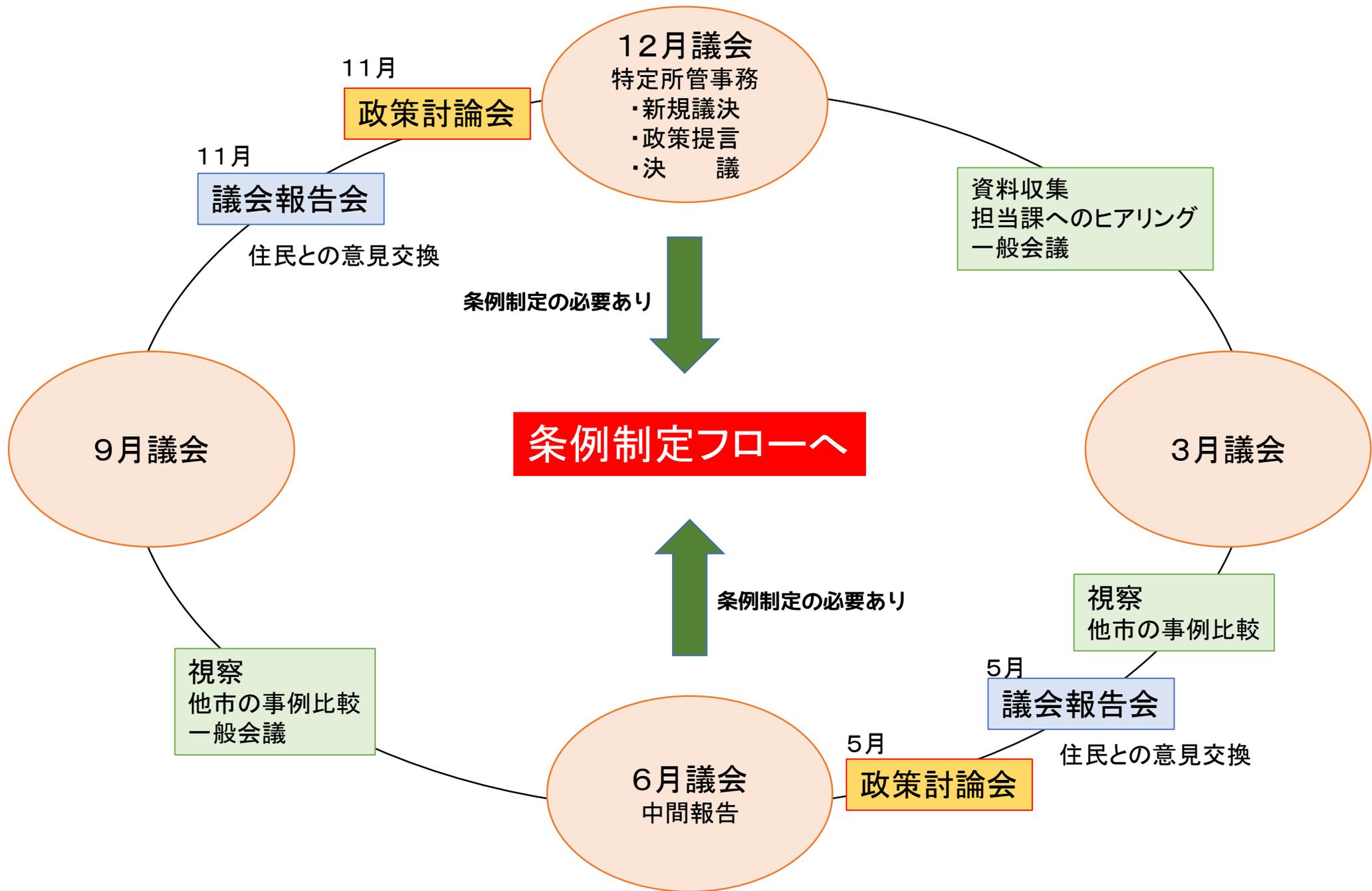
予算決算委員会審査フロー



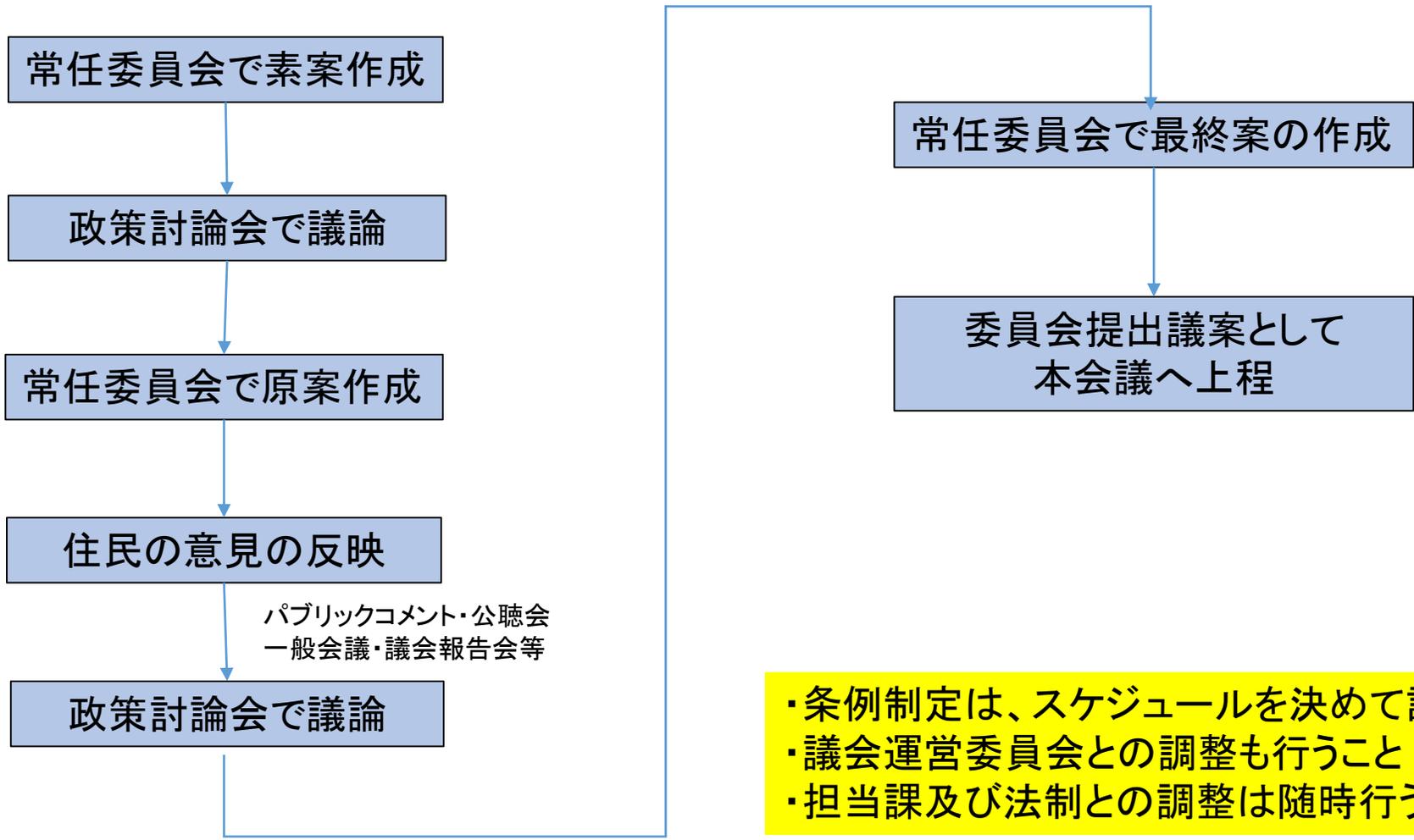
政策サイクル

POINT

- ・西脇市議会では「特定所管事務」という政策形成スタイルがある。
- ・議会報告会や請願・陳情等の住民意見から特定所管事務へ。
- ・議員活動からの一般質問→特定所管事務へというスタイルもある。



条例制定フロー



- ・条例制定は、スケジュールを決めて計画的に行うこと
- ・議会運営委員会との調整も行うこと
- ・担当課及び法制との調整は随時行うこと